

本日は初供養会であり、新成人をお祝いする日でございます。新成人の皆さん、ご家族の皆さん、誠におめでとうございます。今日は皆さんにとって、良い年になっていただきたいという願いを込めて、指導をしたいと思います。

皆さん幸せになりたいですね。人は自分だけが幸せでは、本当の幸せにはなりません。生まれてから今日まで、いろんな方たちと交わっていく、これを妙智會では「縁」と言います。

何かあるとつい私たちは、悪い縁と結ばれたから、嫌な人生になってしまったと思ってしまいます。しかし、妙智會でいう縁は、自分が作るものです。向こうから縁は来ません。皆さん自身が縁を呼ぶのです。「なぜこんな人と縁を結んだんだろう」それは皆さんが望んだからです。自分が選んだのだから、人のせいにはしないということです。これが一番大事なことです。

生まれたとき、皆さんが親を選んだのです。會主さまが「生まれる前に佛さまに聞かれる」とおっしゃっていました。縁というのは、皆さん自身が生まれる前から決めたことなのです。

縁を結ぶ自分がいるということ。人の姿を見て、自分に置き換える。そして、改めていくということです。これが妙智會の、會主さまの教えの縁の深さです。

小さいときから私は「全て自分なんだよ。自分が変われば周りが変わるよ。周りが変わったから自分が変わるんじゃないんだよ」本当に小さいときからそれを教わってきました。70年間生きてきて、本当にその通りでした。みんな突き詰めていけば自分なんだな。人のせいにしちゃいけないんだな。

ですから、幸せというのは、自分がつかむべきものであって、人から与えられるものではないんだな、そこが妙智會なんだなと思います。今年皆さんに幸せになってもらいたいから今日こういう話をします。自分の作り上げた縁をどうするかは、皆さん自身にかかっています。そこをぜひ、しっかり受け止めてください。

全て自分なんだなって、覚えるようになるといいでしょう。それにはやはりね、お経を上げることです。そこかと思うかもしれないけど、そこしかありません。お経を朝夕上げていくとね、今私の言ったことがちゃんとわかるようになる。

そうすると過去のことも気がついてきます。人は嫌なことは忘れます。自分がした悪いことも忘れます。けれど人にされたことは忘れないのですね。人間というのは愚かです。これは人のせいにしてるからです。

お経を上げてごらんなさい。自分が全て中心だということがわかってきます。それがわかってくると、本当の幸せを人生で得られる。本当にお経を上げながらわかってくると、素晴らしい結果が出てきますよ。全て自分が中心。人のせいにしない。自分が変わること。そうすれば周りも変わります。先ほど言ったように、自分だけが幸せじゃ駄目です。周りも幸せになるためには、自分が変われば、自分も周りも同時に幸せになる。こんな素晴らしいことはないのです。

この1年間、今日の私の話をしっかり受け止めていただいて、今からしっかりとお経を上げながら、自分なんだなと思ってください。今年1年間変わりますよ。今年は巳年、大きく変わる年です。良い方に変えてください。皆さんの素晴らしい1年になることを願いながら指導いたしました。ありがとうございました。